

講師  
荒川 敬  
(通称:みじんこ)

# オヤジ電気 [自作講習会]

2017  
02.11

## 電源タップをつくろう OCB-1 編 工作マニュアル



1976年に発売され、多くのオーディオファンに愛されてきた「OCB-1」シリーズ。今回はこの工作マニュアルに沿って「OCB-1」を制作します。自ら手掛けた電源タップで良い音が鳴れば感動もひとしお。制作時間は2時間ありますのでじっくり楽しく工作しましょう。

※工作にてこずった時は、アシスタントスタッフが補助しますのでお気軽にお声がけください。

## PART 1

### —— 工具・部材の確認 ——



#### [ 貸出工具 ]

- ①ドライバー [HOZAN D-8]
- ②ハサミ [HOZAN N-838 ヘビースニップ]
- ③ラジオペンチ [HOZAN P-15-150]
- ④六角レンチ [ノーブランド]



#### [ 部材 ]

- ①OCB-1 コンセントボックス&カバー
- ②ケーブル [BlackMamba V2/2m 芯線露出処理済]
- ③電源プラグ [P-029 真鍮無メッキ電極]
- ④コンセント [SWO-NT リン青銅無メッキ / 2個]
- ⑤M4 トラスネジ [コンセント取付用 / 4個 (銀色)]
- ⑥M3 六角穴ボルト [コンセントカバー取付用 / 4個 (金色)]
- ⑦アース渡り線 [BlackMamba V2/8cm 端子加工済 (緑色)]
- ⑧ホット / コールド渡り線 [BlackMamba V2/10cm (白/黒色)]

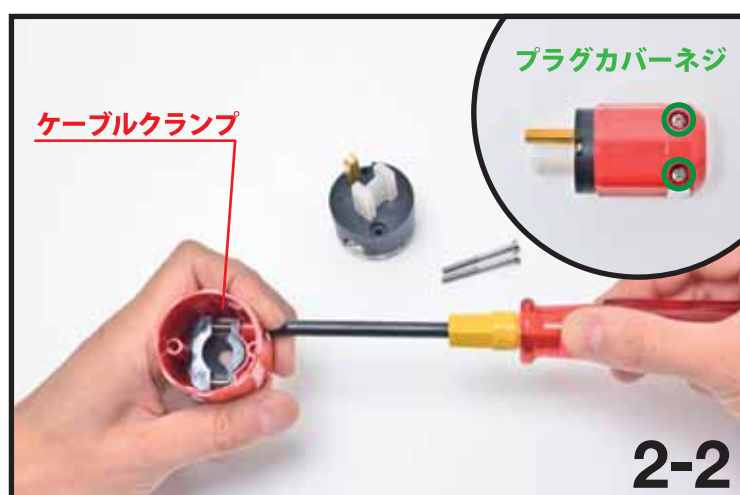
焦ると怪我をしやすいので落ち着いて作業しましょう。  
工具の刃先を自分の方向へ向けないよう注意しましょう。

# PART 2

## —— 電源ケーブルの加工 ——



2-1：電源プラグのプラグ本体のネジをドライバーで緩め、本体からカバーを外します。



2-2：プラグカバーのネジをドライバーで緩め、カバー内のケーブルクランプを広げます。



2-3：カバー内のケーブルクランプダンパーをラジオペンチで引き抜きます。



2-4：ケーブル端末(芯線が短い方)にプラグカバーを通します。

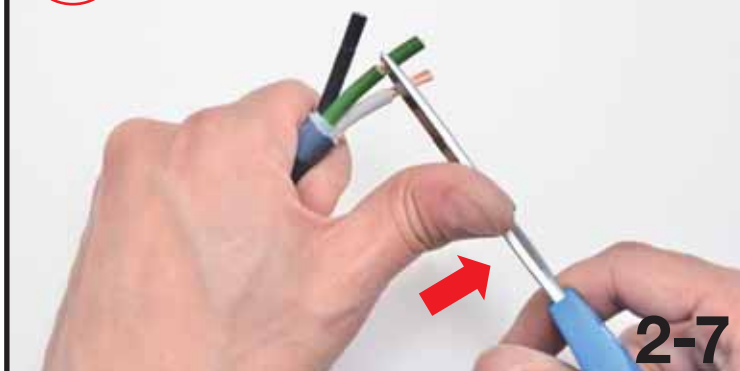


2-5：プラグ本体の3箇所のネジをドライバーで緩め、クランプを広げます。

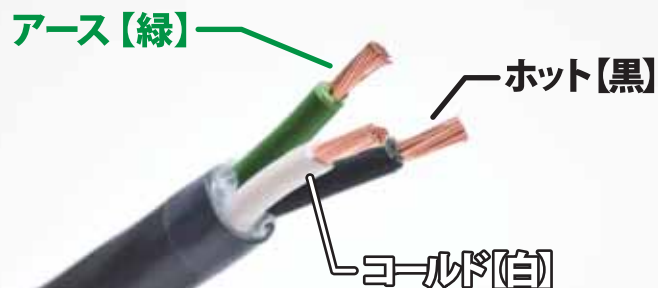


2-4：プラグ本体をコンセントに挿しプラグ裏面のゲージを目安に芯線端末から10mmの箇所にハサミで切れ込みを入れます。

**POINT** 親指でハサミを押しやるように絶縁材を剥く。



2-7：切れ込みを入れた場所から絶縁材を剥きます。

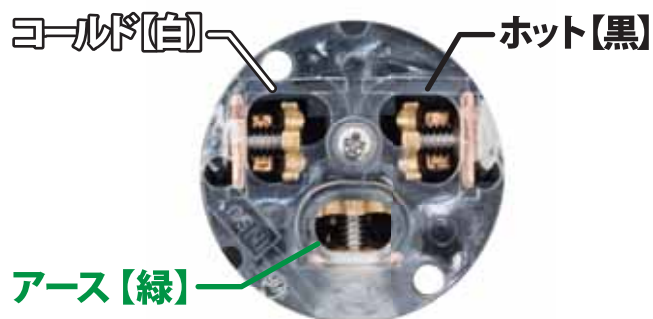


2-8：絶縁材を全て剥くと、この様な状態になります。



Q：今回使うケーブルは？

A: Black Mamba V2 というケーブルです。  
オヤイデ電気オリジナルの精密導体  
“102SSC”を採用し、癖のない  
フラットな帯域バランスが特徴です。

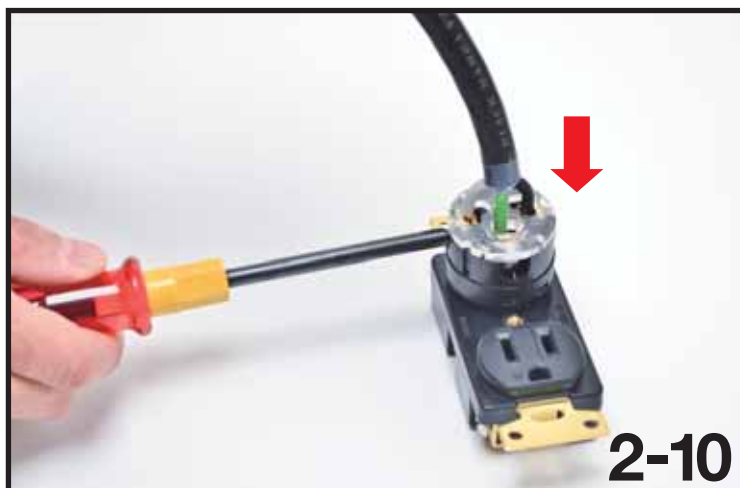


OYAIDE Pシリーズの配線を確認

オーディオ用の電源プラグは左図のように  
ホット / コールドに、アースを加えたUL  
タイプの3極プラグが主流です。  
極性を間違えて結線すると機器の故障や  
感電を招くので注意して結線してください。



2-9：芯線をドライバーを軸に「くの字」に曲げます。



2-10：プラグ本体のケーブル挿入口にケーブル導体を  
挿し込みプラグ本体のネジを締めて導体を  
固定します。





2-11：プラグ本体をコンセントから外し、強く増し締めをします。

ネジの締め具合をチェックしますので、出来た人はアシスタントスタッフにお声掛け下さい。



2-12：「2-3」で引き抜いたケーブルクランプダンパーを嵌めこみ、プラグ本体の溝にプラグカバー内側の突起が嵌るように被せます。



2-13：プラグ本体とプラグカバーをネジで締めて固定します。



2-12：ケーブルを確実にクランプで固定させる為、ケーブルをプラグに押し込みます。



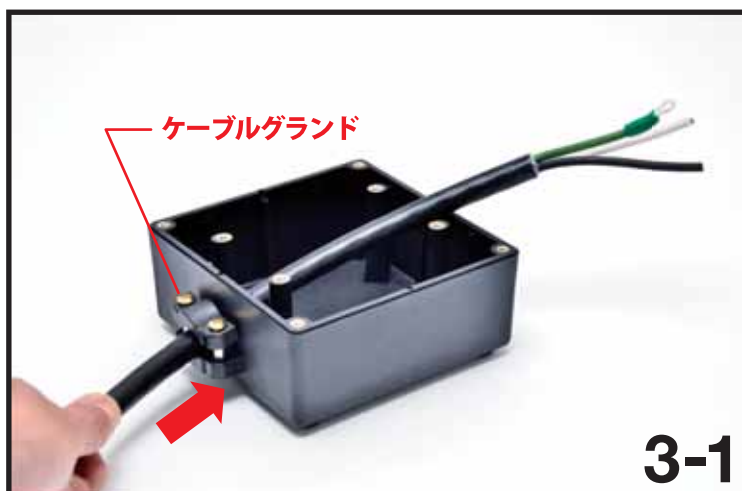
2-15：プラグカバー横のネジを締めてクランプを閉じ、ケーブルを固定します。



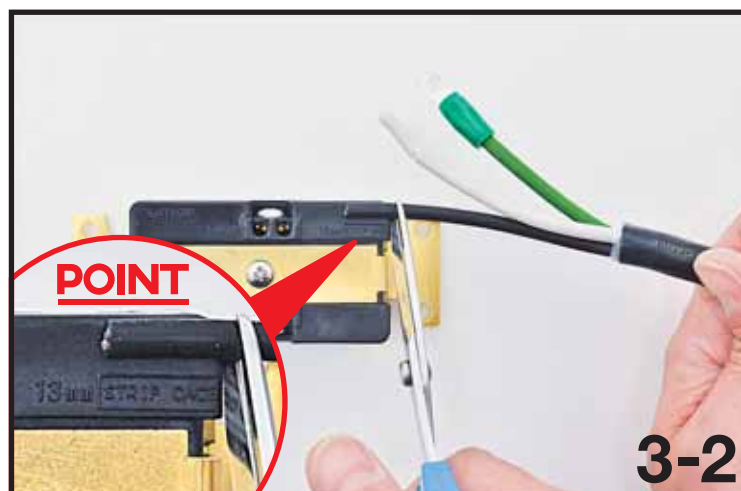
2-16：電源ケーブル部分が完成しました。

# **PART 3**

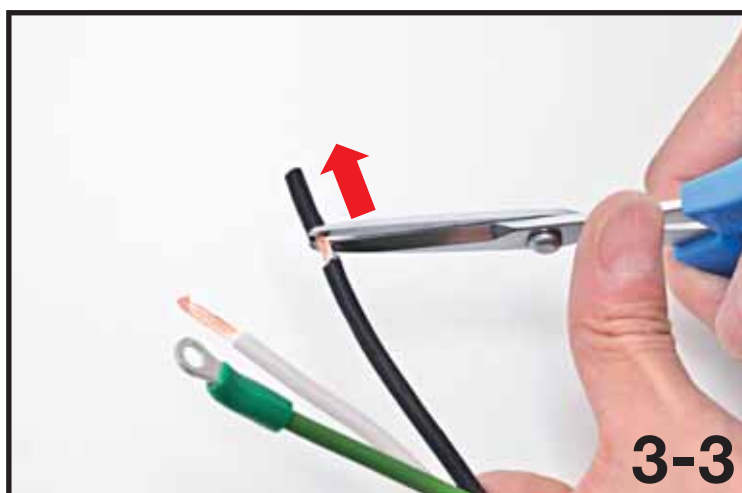
## —— コンセントの配線 ——



3-1：ケーブルグランドをドライバーで緩めて、ケースにケーブルを通します。



3-2：コンセント裏面のストリップゲージを目安にケーブルの白と黒の芯線の13mmのところにハサミで切れ込みを入れます。



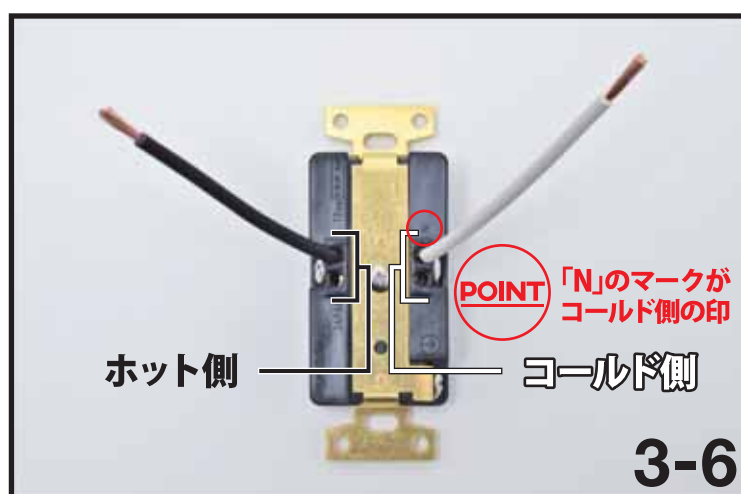
3-3：切れ込みを入れたところから絶縁材を剥いて導体を露出させます。



3-4：白と黒の渡り線にも同様に、13mmのところに切れ込みを入れ、絶縁材を剥きましょう。



3-5：コンセント側面2箇所ネジを緩めコンセント内のクランパーを広げます。



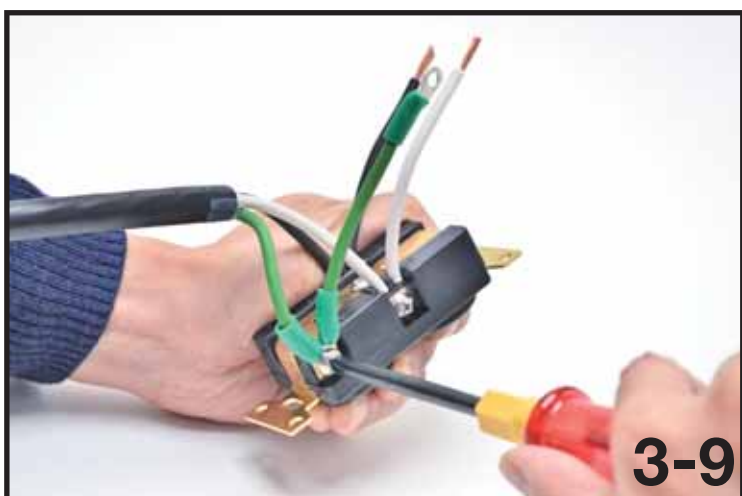
3-6：コンセントの裏面のコールドの穴に白い渡り線を挿し、ホットの穴に黒い渡り線を挿し込みます。



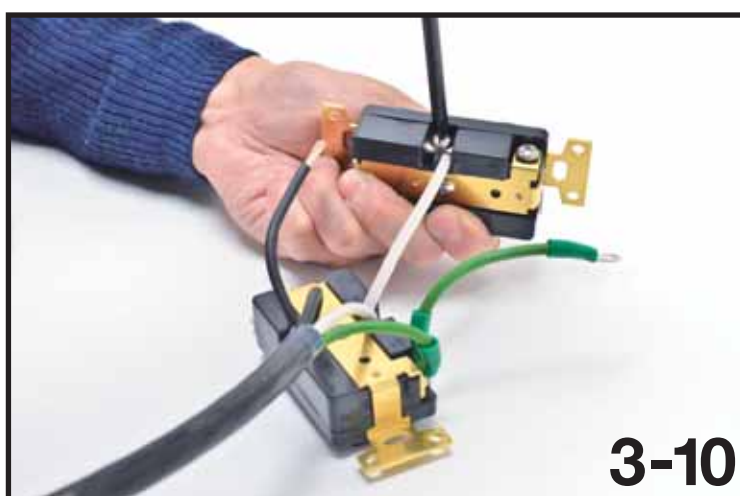
3-7：次にケーブルのコールド線(白)をコールド側に、ホット線(黒)をホット側に挿し込みます。



3-8：コンセント側面のネジをドライバーで締め、ホット線及びコールド線を固定します。



3-9：コンセントのアース電極のネジを一旦外し、ケーブルのアース線とアース渡り線の丸端子に通して、ネジをコンセントに取り付けます。



3-10：白い渡り線を2個目のコンセントのコールドの穴に差し込み、ネジ止め固定します。次に、黒い渡り線も同様にホットの穴に挿し込み、ネジ止め固定します。



3-11：アース渡り線を2個目のコンセントのアースに挿し込み、ネジ止め固定します。



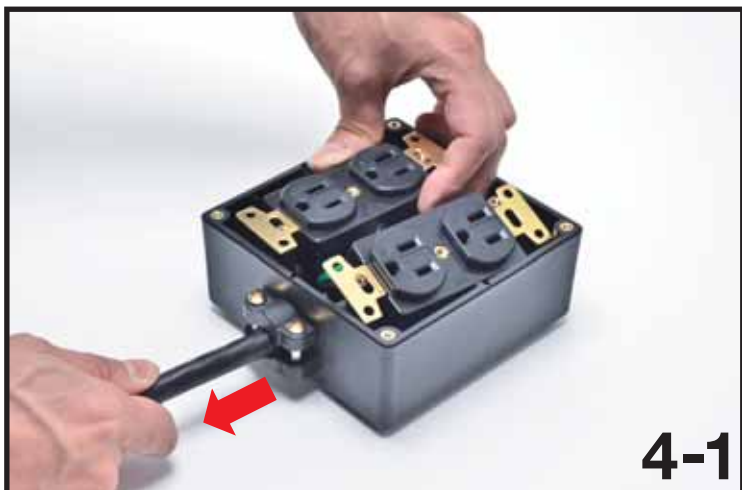
3-12：渡り線を配線し終えた状態です。間違いがないか再度確認しましょう。

ネジの締め具合をチェックしますので出来た人はアシスタントスタッフにお声掛け下さい。



# **PART 4**

## —— コンセントの取り付け ——



4-1：コンセントボックス内のポストと合うようにケーブルを引っ張りながら調整します。



4-2：コンセントカバーの穴の位置に合うように微調整しながらコンセントを銀色の M4 ネジでコンセントボックスのポストに固定します。



4-3：ケーブルグランドを締めてケーブルを固定します。



4-4：コンセントカバーを被せ、金色の六角ボルトを四隅に嵌め、六角レンチで締め上げます。



4-5：完成です！おつかれさまでした！！

完成した方はテスターで導通チェックを行いますのでアシスタントスタッフにお声掛けください。

# **[ オヤイテ電気 自作講習会 ]**

## 電源タップをつくろう **OCB-I 編**



開催日  
**2017年2月11日(土)**

開催場所  
**東京 秋葉原  
廣瀬本社ビル 5 階  
レンタルホール**